

ご挨拶

第15代校長 伴 英子

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

昨年来の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大防止や医療業務等に尽力されている皆様に心より感謝申し上げますと共に、コロナ禍において苦しい思いをされている方々にお見舞い申し上げます。

さて、本校でも、その教育活動に少なからずの影響を受け、行事の中止や縮小をしたり、実施における安全対策など、情報を取り入れたりしながら、できることを進めて参りました。今年度も、まだまだ収束の目処は立っていない中、昨年度の経験を活かしながら、できるだけ、今の状況を踏まえた計画で進めているところです。大きな行事は、昨年と同様に進めることとしましたが、やり方を工夫すれば実施できる方法を考え、少しでも多くの経験を子どもたちに与えられるように考えています。

それらの中には、コロナ禍だからできなくなってしまった、というより、新たにこういう方法があったと考え方やものの見方を変えることができた取組もあります。今年度は、教育委員会の「持続可能な学校のあり方を探る公募型モデル事業」のモデル校として40分授業午前5時間制を、昨年度に引き続き推進していきます。昨年度の反省を活かし、新たに休憩時間の明確化などを取り入れています。また高学年教科分担制も、教育委員会の「小学校高学年における一部教科分担制を伴うチーム学年経営の強化推進校」を受けた取組です。様々な目で子どもたちを見守りながら、一人一人の個性や長所を生かせるように取り組んでいます。また、「自分作り教育」を中心に据えた、校内重点研究も継続します。自分の意見を持ち、他人の意見と合意しながら自分の生活をよりよく進めていくための取組に、今年も弁護士の方々のご協力をいただきます。いろいろな教科で培った力を発揮する場として、特別活動(学級活動)の時間に研究授業を行います。

横浜市全体としては、GIGAスクール構想の取組があります。一人1台のタブレットを活用して、学習を効果的、創造的に進めていきます。

こうした伊勢山小学校の取組を支えてくださっているのが、「学校運営協議会」をはじめとする地域、保護者の皆様です。学校は、様々な経験を通して、自分の考えを実現したり、時には失敗して悔しい思いをしたりしながら成長するところです。これからもご意見をいただきながら、子どもたちのよりよい成長のために職員一同力を合わせて進めて参りますので、どうかご協力をお願いいたします。